

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

地域の多彩な魅力で創造し、自然環境と都市機能が融合した
北東北の拠点都市“おおだて”

2 地域再生計画の作成主体の名称

秋田県、大館市

3 地域再生計画の区域

大館市の全域

4 地域再生計画の目標

大館市は、平成17年6月20日に大館市、比内町及び田代町の1市2町が合併して誕生した新市である。本市は、矢立峠を境に青森県と接する秋田県北部に位置し、人口78,856人（平成25年1月1日現在）、行政区域面積913.7km²、その内森林面積は70,130haであり行政区域面積の約77%を占めている。

本市は、忠犬ハチ公のふるさと、大館曲げわっぱ、比内鶏、きりたんぼ等で全国的に知られているが、その他にも、矢立峠付近には樹齢300年を越える天然秋田杉の風景林、市内北部には国指定天然記念物の長走風穴高山植物群落及び芝谷地湿原植物群落、年間延べ10数万人が訪れる岩神ふれあいの森、風光明媚な田代岳県立自然公園等の優れた景勝地を有している。その四季の移ろいに合わせて、4月の桜まつり、6月のたけのこ祭り、8月の大文字まつり、10月の五色湖まつり、1月の比内とりの市、2月のアメッコ市等が開かれており、美しい自然環境と伝統・文化が融合したまちを形成している。また、本市では、黒鉱と呼ばれる良質の鉱石が産出されたため鉱業が基幹産業となった。それは明治以降の近代から戦後の高度経済成長までを支えるほどのものであり、林業と合わせて本市がおおいに発展するもととなった。

このように、自然・伝統・文化に恵まれ、経済的にも発展してきた本市であったが、基幹産業である鉱業の衰退とそれに伴う鉱山閉山以降続く人口減少、大型店舗の郊外化に伴う市街地の空店舗化、下水道等のインフラ整備の遅れ、主要国道・県道を取り巻く市道等の未改良区間の存在、更には災害時の対策など多くの課題に直面している。

そこで、本市は、平成18年4月に「新大館市総合計画」を策定し、次の6つの都市像を定めた。

- 1) 経済基盤の確立を目指す環境と調和した 産業都市

- 2) 自然と調和した潤いのある 環境都市
- 3) 健やかで生きがいのある生涯を支える 総合福祉都市
- 4) 生涯にわたり楽しく学べる 教育文化都市
- 5) 利便性が高く安全な暮らしを支える 快適生活都市
- 6) 自立した地域が共栄する 地域協働都市

これらの目標に沿った施策を推進し、直面する課題に対処し、新たな経済基盤と生活基盤をもった、「新大館市」をめざす。

特に、本計画では、「新大館市総合計画」の目標を達成するために、道整備交付金を活用し、林道及び市道の整備と関連する施策を推進する。

具体的には、道整備交付金を活用した林道及び市道の整備の推進で、森林施業の効率化や原木市場等木材産業施設との接続を改善し、林業・木材産業の振興を図るとともに、災害時における松原地区の孤立状態の解消、高村地区、大滝地区、代野地区、鉄砲場地区等の狭隘路線の解消及び象ヶ鼻地区のクランク箇所の改良で、救急車両等の到達時間の短縮、通勤・通学時間帯の渋滞の解消及び消防車両等の通行を確保し、安心・安全な生活環境の改善を図る。

併せて、林道花矢線及び市道松原4号線の整備による国道・県道・市道との環状化により、観光拠点間のアクセスを向上し観光客の増員を図る。このため、矢立自然の会や田代岳を愛する会等の市民ボランティア団体と連携し、トレッキングコースや観光コースの保全・整備を行うとともに、観光客への歴史解説や案内に向け、道案内人の育成を図る。

また、林道花矢線の整備により、鉱業関連基盤を活用したリサイクル関連企業が集積する花岡地区と国道とのアクセスを向上し、運送コストを削減し、資源リサイクル産業の振興を図る。

更には、森林法第7条の二の規定に基づき策定される「米代川森林計画区地域管理経営計画書（案）（H20年度～H29年度）」において、新たに当市の山館及び休間内地区の国有林466haの主伐・間伐で約54千m³の素材生産が計画されていることから、林道山新線及び林道尾去沢休間内線の整備を図ることで、この林道流域の国有林と民有林を一体化した素材供給団地を形成することが可能となり、素材供給不足を解消し林業・木材産業の活性化を図る。

道整備交付金を活用した事業と関連した施策として、区画整理事業及びまちづくり交付金事業等の推進で、中心市街地の活性化を図る他、産学官共同研究によるレアメタル回収システムの確立により資源リサイクル産業拠点の形成をめざす。これら事業を総合的かつ一体的に推進し、地域の再生を図る。

- （目標1）林業の振興と地域産業の改善**
- （初回間伐実施面積 6.2%増加）**
- （地域材入荷量 20%増加）**

（目標2）災害時における松原地区の孤立状態の解消
（松原地区～清水川地区間の脱出・救援経路の確保）

（目標3）安全、安心な生活環境の改善
（救急車両等到達時間5分の短縮）
（消防車両等の通行確保）

（目標4）田代岳入林者及び矢立地区温泉宿泊者の増加
（平成17年度実績の2.5%4,700人の増加）

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

林道及び市道の整備の推進で、森林施業の効率化や木材産業施設との接続を改善し、更には国有林と民有林を一体化した素材生産団地を形成し、林業・木材産業の振興を図るとともに、災害時における孤立状態地区の解消や狭隘路線の解消及びクランク箇所の改良など、安心・安全な生活環境の改善を図る。あわせて、国道、県道、市道及び林道との環状化と、市民ボランティア団体と連携し、観光コース等の保全・整備を行うとともに、道案内人を育成することにより、観光拠点を形成し観光客の増員を図る。

また、まちづくり交付金事業等の推進で、中心市街地の活性化を図る他、産学官共同研究により資源リサイクル産業拠点の形成をめざす。

5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

① 道整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を行っている。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・市道：①高村杉苗出線一道路法に規定する市道に平成8年6月19日に認定済み。
- ②中山線一道路法に規定する市道に平成5年12月20日に認定済み。
- ③象ヶ鼻線一道路法に規定する市道に昭和54年12月26日に認定済み。
- ④松原4号線一道路法に規定する市道に平成22年3月24日に認定済み。
- ⑤古川町鉄砲場線一道路法に規定する市道に昭和54年12月26日に認定済み。
- ⑥大滝2号線一道路法に規定する市道に平成22年3月24日に認定済み。
- ⑦上野岱代野線一道路法に規定する市道に昭和60年6月26日に認定済み。

・林道：森林法による米代川地域森林計画（平成15年樹立）に路線を記載。

[施設の種類（事業区域）、事業主体]

・林道：（大館市）秋田県

・市道：(大館市) 大館市

[事業期間]

・林道：(平成19年度～平成25年度)

・市道：(平成19年度～平成25年度)

[整備量及び事業費]

・林道 5,081m 市道 2,294m

・総事業費 1,233,561千円(うち交付金 616,780千円)

(内訳) 林道 889,073千円(うち交付金 444,536千円)

市道 344,488千円(うち交付金 172,244千円)

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「地域の多彩な魅力で創造し、自然環境と都市機能が融合した北東北の拠点都市“おおだて”」の将来像を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行う。

① 御成町南地区土地区画整理事業

主要幹線(都市計画道路中央線)の整備を行い、併せて中心市街地空洞化の解消、住環境の整備により、中心市街地としてふさわしい市街地整備を図る。

② 扇田地区まちづくり交付金事業

市営住宅の建替えや公民館の改修、公園などの公共施設を整備するほか、周辺道路や駐車場の整備を行うことで、中心市街地でのイベント開催など、まちづくりを促進し賑わいの再生を図る。

③ 中心市街地の活性化

中心市街地4団地(大町・中町・新町・向町)の市営住宅について再編を図り、商店街の起爆剤とする。また、市の施設(旧正札デパートビル)を「大町ふれあい広場」として開放し、産地直売所やイベント会場として活用することで商店街の活性化を図る。

④ 林業・木材産業支援事業

大館市森林整備事業の実施で私有林の間伐促進を図るとともに、集成材加工施設導入事業及び木材乾燥拠点施設整備事業に対する支援で、林業・木材産業の活性化を図る。

⑤ 使用済み小型電子電気機器の回収試験の実施

産学官の共同研究として、平成18年12月からレアメタル類の回収システムを考え

るうえでのデータ収集のため、市内 21 箇所に回収ボックスを設置した。また、市民にポスター及び広報を通じて貴重な資源のリサイクルの協力をお願いしている。

⑥ ボランティア団体との連携

地域のボランティア団体と連携し、観光客が大館市の歴史・文化及び自然を堪能し再度来訪してもらうため、道案内人などの観光ガイドを育成する。

また、地域住人やボランティア団体と協働し、自然公園や林道の保全・整備を行うとともに、高齢者世帯の除排雪等さまざまなボランティア活動への参加を公募し、ボランティア意識の高揚を図る。

6 計画期間

平成19年度～平成25年度

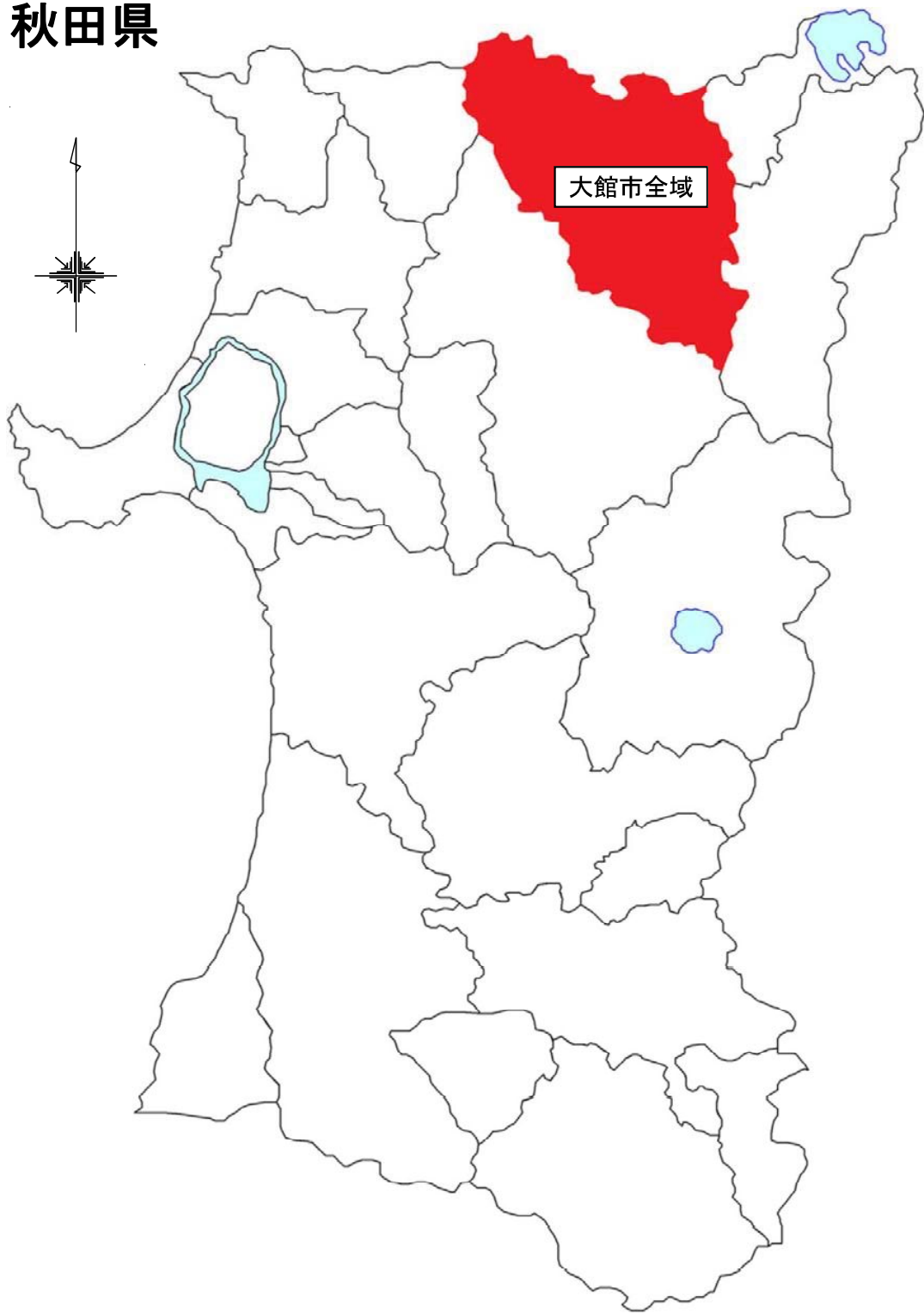
7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし、大館市において状況を調査、評価し、必要に応じて公表する。

添付書類一覧（目次）

- 1 大館市行政区域図
- 2 地域再生計画区域図
- 3 施設整備箇所図
- 4 地域再生計画（変更工程表）
- 5 北東北の拠点都市“おおだて”イメージ図

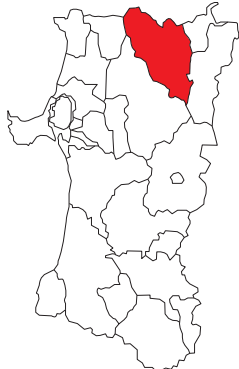
秋田県



大館市全域

地域の多彩な魅力で創造し、自然環境と都市機能が融合した
北東北の拠点都市“おおだて”

地域の多彩な魅力で創造し、自然環境と都市機能が融合した 北東北の拠点都市 “ おおだて ”

都道府県名	秋田県	
作成主体名	秋田県、大館市	
区域の範囲	大館市の全域	

地域再生計画の概要

大館市は、忠犬八チ公のふるさと、大館曲げわっぱ、比内鶏、きりたんぼ等で全国的に知られている他、樹齢300年を超える天然秋田杉の風景林、国指定天然記念物の長走風穴高山植物群落及び芝谷地湿原植物群落、風光明媚な田代岳県立自然公園等が四季を彩っている緑豊かなまちである。また、1月の比内とりの市、2月のアメッコ市、8月の大文字まつり等々の伝統文化と自然環境が融合したまちでもある。しかし、鉱山閉山以降続く人口減少や市街地の空店舗化、更にはインフラ整備の遅れ等から、経済基盤の確立をはじめ生活基盤の整備が近々の課題となっている。このため、地域再生基盤強化交付金を活用し、林道及び市道の効率的な整備により林業・木材産業の振興と生活環境の改善を図る。また、国道、県道、市道及び林道の環状化により、住民交流の促進や経済活動の活性化、更には観光拠点の形成を図り、大館市の将来像である『自然環境と都市機能が融合した北東北の拠点都市 “ おおだて ”』をテーマに地域の再生を図る。

適用される支援措置

- ・道整備交付金



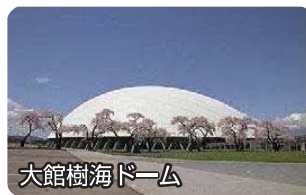
長木川溪流



秋田犬



田代岳



大館樹海ドーム



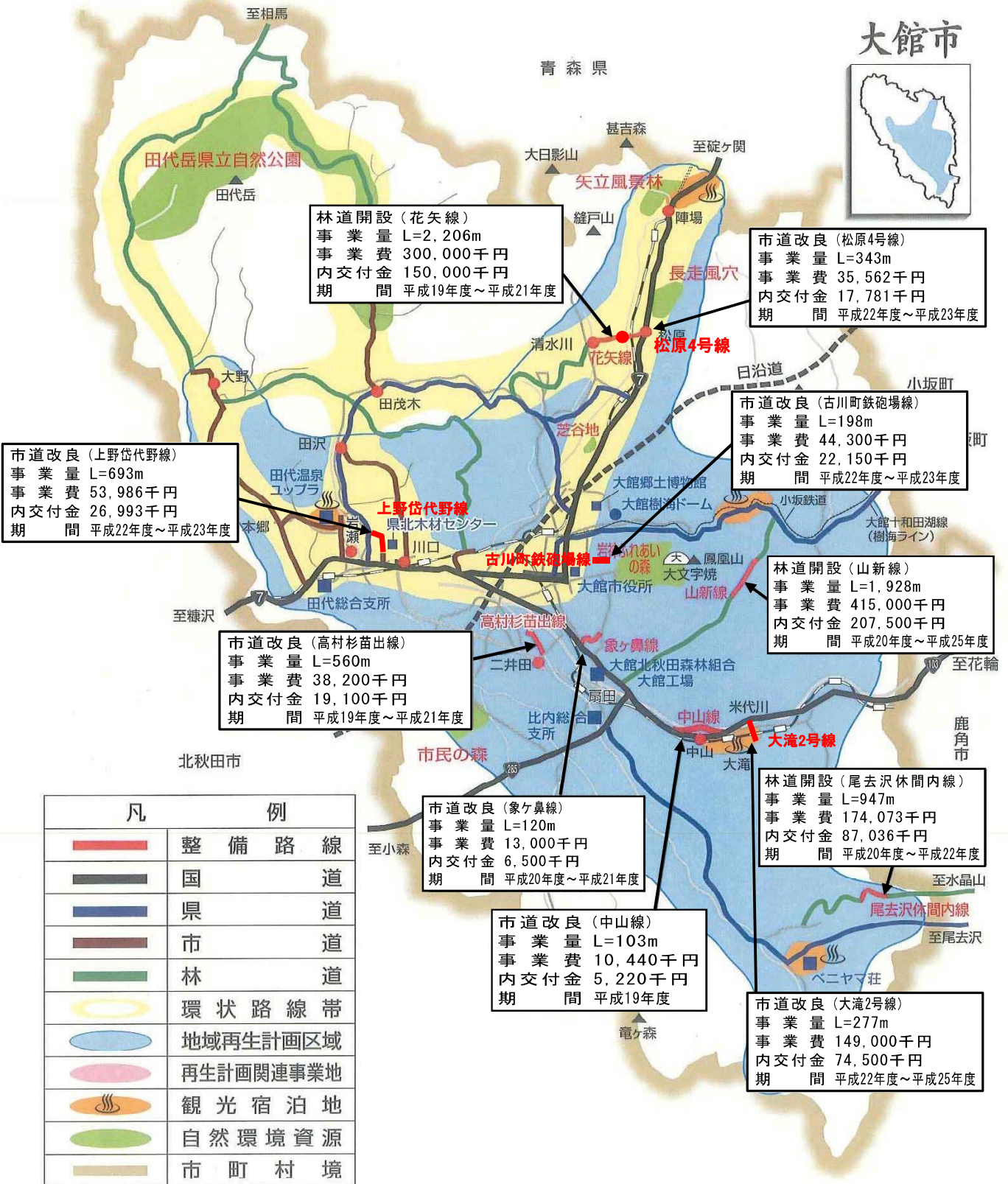
比内鶏

道整備交付金による施設整備の整備箇所

大館市



青森県



林道開設（花矢線）
事業量 L=2,206m
事業費 300,000千円
内交付金 150,000千円
期間 平成19年度～平成21年度

市道改良（松原4号線）
事業量 L=343m
事業費 35,562千円
内交付金 17,781千円
期間 平成22年度～平成23年度

市道改良（上野岱代野線）
事業量 L=693m
事業費 53,986千円
内交付金 26,993千円
期間 平成22年度～平成23年度

市道改良（古川町鉄砲場線）
事業量 L=198m
事業費 44,300千円
内交付金 22,150千円
期間 平成22年度～平成23年度

林道開設（山新線）
事業量 L=1,928m
事業費 415,000千円
内交付金 207,500千円
期間 平成20年度～平成25年度

市道改良（高村杉苗出線）
事業量 L=560m
事業費 38,200千円
内交付金 19,100千円
期間 平成19年度～平成21年度

市道改良（象ヶ鼻線）
事業量 L=120m
事業費 13,000千円
内交付金 6,500千円
期間 平成20年度～平成21年度

林道開設（尾去沢休間内線）
事業量 L=947m
事業費 174,073千円
内交付金 87,036千円
期間 平成20年度～平成22年度

市道改良（中山線）
事業量 L=103m
事業費 10,440千円
内交付金 5,220千円
期間 平成19年度

市道改良（大滝2号線）
事業量 L=277m
事業費 149,000千円
内交付金 74,500千円
期間 平成22年度～平成25年度

凡 例	
	整備路線
	国道
	県道
	市道
	林道
	環状路線帯
	地域再生計画区域
	再生計画関連事業地
	観光宿泊地
	自然環境資源
	市町村境

地域再生計画（変更）の工程表

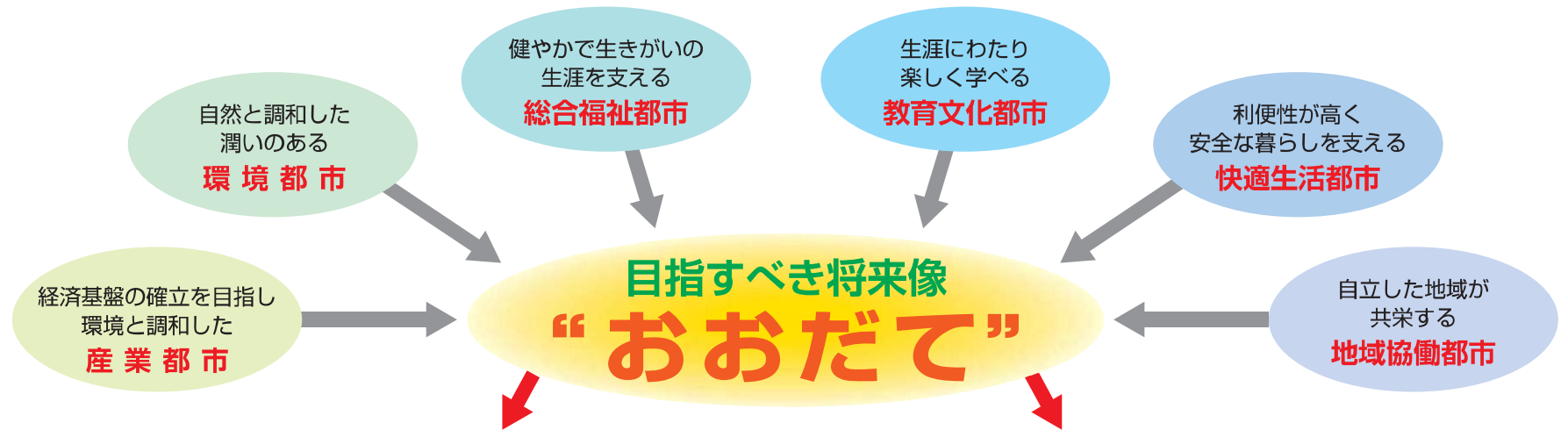
		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25			
支援措置	道整備 交付金の活用	林道花矢線	清水川～松原区間(L=2,206m)の整備							自然環境と都市機能が融合した北東北の拠点都市“おおだて”	
		林道山新線	山館～新沢区間(L=1,928m)の整備								
		林道尾去沢休間内線	尾去沢～休間内区間(L=947m)の整備								
		市道高村杉苗出線	高村～杉苗出区間(L=560m)の整備								
		市道中山線	中山～中山沢出口区間(L=103m)の整備								
		市道象ヶ鼻線	扇田道下～象ヶ鼻区間(L=120m)の整備								
					市道松原4号線		松原地内(L=343m)の整備				
					市道古川町鉄砲場線		鉄砲場地内(L=198m)の整備				
					市道大滝2号線		大滝地内(L=277m)の整備				
					市道上野岱代野線		岩瀬地内(L=693m)の整備				
		<p>○林道及び市道の一体的整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道及び市道の整備で、森林施業の効率化と地域材入荷量の増加を図り林業・木材産業の振興を図る。 ・災害時に孤立状態となる松原地区の脱出・救援経路を確保する。 ・観光拠点間のアクセスを向上し、観光客の増員を図る。 ・狭隘路線を改良し、緊急車両到達時間の短縮及び乗り入れ確保並びに通勤時間帯の渋滞解消を図る。 ・リサイクル関連企業団地とのアクセスを向上し、輸送コストを削減し、資源リサイクル産業の振興を図る。 ・事業期間 平成19年度～平成25年度 									
その他の事業		<p>○関連する施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御成町南地区土地区画整理事業 ・扇田地区まちづくり交付金事業 ・中心市街地住宅建設事業 ・大館市森林整備事業、森林整備地域活動支援交付金、木材乾燥拠点施設整備補助金、木材産業構造改革事業費補助金 ・レアメタル回収システム研究 ・観光ガイドガイドの育成、ボランティアの公募 									

（工程表の説明）

○平成19年度から平成25年度までの7年間に道整備交付金を活用し、林道及び市道の整備の推進で、森林施業の効率化及び地域材入荷量の増加を図り、林業・木材産業の振興を図る。あわせて、林道花矢線の松原地区と清水川地区間の開設で、松原地区の災害時の脱出・救援経路を確保する。市道の狭隘路線の改良で、緊急車両の到達時間の短縮と大型車乗入れを可能にし、通勤時間帯の渋滞を解消し、生活基盤の整備を図る。また、林道花矢線の整備による環状化で、観光拠点間のアクセスを向上し、観光客の増員を図るとともに、リサイクル関連企業団地とのアクセスを向上し、輸送コストを削減し、資源リサイクル産業の振興を図る。

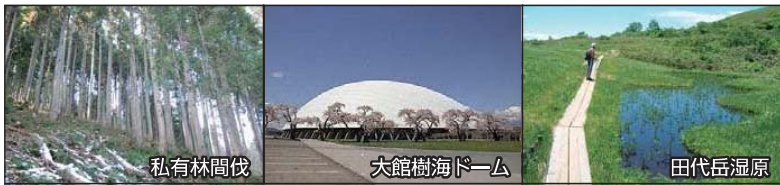
○地域再生計画のテーマである『自然環境と都市機能が融合した北東北の拠点都市“おおだて”』の形成に向け、上記の施策を総合的に行うとともに、あわせて、市民参加のまちづくりや環境・自然保護団体等との連携強化を図る。

『地域の多彩な魅力で創造し、自然環境と都市機能が融合した北東北の拠点都市“おおだて”』
再生による活性化のイメージ図



道整備交付金を活用した市道改良事業
林道改良・開設事業

国道・県道・市道・林道の環状化による生活基盤及び産業基盤の充実



- ・土地区画整理事業による中心市街地空洞化の解消
- ・まちづくり交付金事業による賑わいの再生
- ・市営住宅の再編による地区の活性化
- ・大館市森林整備事業の実施で間伐の促進

自然環境と都市機能が融合した潤いのあるまちの形成

地域の活性化へ